

2025年2月28日
一般社団法人 日本生活支援工学会

高額療養費制度の見直しに関する声明

高齢化、高度技術化など急激に変貌しつつある社会環境において、多くの国民がなんらかの疾病や障害を持ちつつも、治療を受けながら、さまざまな支援や自助具の活用により懸命に生活しております。高額療養費制度は、まさにセーフティネットであり、今後も存続されるべき制度ではありますが、その見直しにおいては、その当事者や関係者を含め、正しい情報のもと、網から漏れる人のなきよう慎重に議論を尽くした後になされるべきです。

個人の尊厳、人間関係、生活の質などの観点から、すべての人の幸せを願い、支援工学の確立と実践に励むものにとって、経済的な事由によって必要な治療が選べず、生活の質が危ぶまれる今回の見直しについては大変憂慮いたします。すべての国民が希望を持って生活し続けられるよう、再検討いただきたくここに声明を公開いたします。

一般社団法人 日本生活支援工学会
代表理事（会長） 大野 悦子